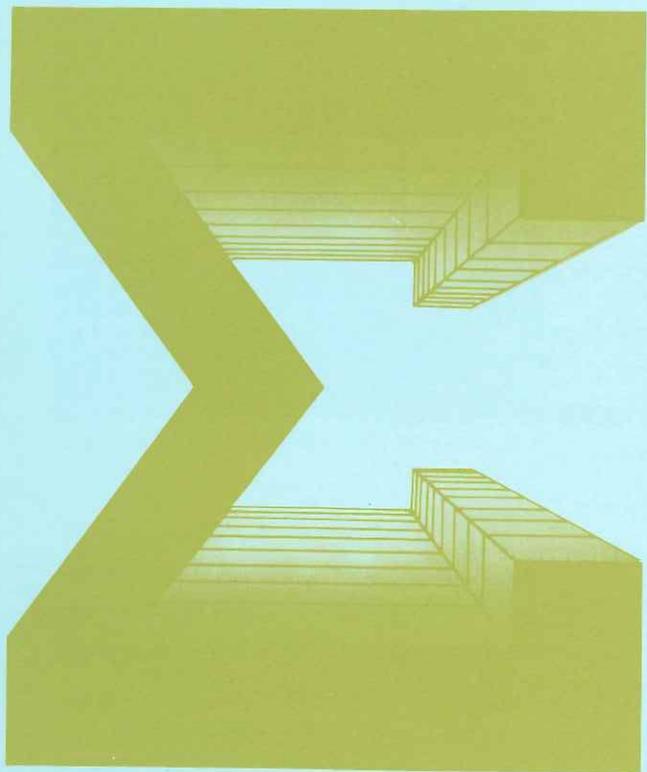


需要家のためのI.B.ニュース

シグマ

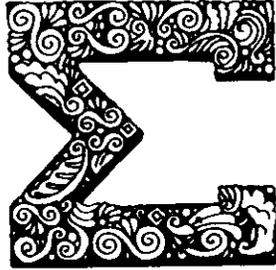


【18】イワタボルト

1991.9

NO.59

18



誌名〈シグマ〉の由来

〈シグマ〉はギリシャ語のアルファベット第18番目にあたるΣ (sigma)から取ったものですが、Σは微積分では総体の和を表わす記号ともなっております。そこで、1)「ねじ」は物を締めつけて完成品に仕上げる重要な部品ですから、総体の和を支えるものといえます。そして 2) 私たちは、総体(トータル)でのみ、伝票では買えないものをサービスして、総体のコスト(トータルコスト)を下げることに協力します。このためには、3)「ねじ」を供給する私たちと、それを使用される皆さんとの間に、密接な和を必要とします。こうした私たちの3つの願いをこめて名づけられたのが〈シグマ〉です。

ソニー盛田会長が勲一等瑞宝章 創立45周年記念を兼ねて盛大に祝賀	1
イワタボルト USA が HR3000 に対応 検査・試験機器を整備拡充、A2LA に認定を申請	2
ソニーのマレーシア 2 工場竣工 SEM と SMM の完成を祝して式典	5
METEC'91 に出品 サーマガート製品を展示、硫酸銅テストも実施	12
イワタボルト USA がコロンバスのファスナーショーに出品 会場の関心はファスナー品質法に集中	13
一関出張所を新築移転	11
栃木分室を開設	11



ソニー盛田会長が勲一等瑞宝章

創立45周年の祝賀を兼ねて

盛大に感謝の集い



☆勲一等瑞宝章を授章されたソニー株主盛田昭夫会長と良子夫人

ソニーの盛田昭夫会長が平成3年春の叙勲で勲一等瑞宝章を授章され、5月8日、皇居・宮殿松の間で行われた親授式で天皇陛下御手ずから勲章が親授されましたが、折からソニーが創立45周年を迎えるということでその祝賀を兼ねた感謝の集いが、7月22日（月）午後6時から、東京品川の新高輪ホテルの飛天の間で盛大に行われました。当夜は主としてソニーの取引関係者約900名が出席して心からの祝意を表しましたが、イワタボルトからは岩田勇吉社長が出席しました。

盛田会長の叙勲は、「戦後多年にわたり日本の

電子産業界の発展に努めると共に、関係諸団体の要職にあってわが国の経済と世界経済の発展に貢献した」ことが理由となっています。敗戦による焼け跡と混乱の生々しい昭和21年5月、盛田さんが海軍将校当時始めて出会われた現名誉会長の井深大さんと、資本金19万円をもって東京通信工業を設立したのがソニーのスタートです。その年の従業員はわずか28名、売上が71万円、利益は2千円でした。ソニーの設立と同じ頃にイワタボルトが呱呱の声をあげその後の長いお取引が始まるだけに私たちにとっても感慨新たなるものがあります。

やがてソニーは波乱と変化に激しく揺れる戦後を、技術開発力を武器に急成長と高成長をとげ、「ソニー神話」は世界の人々を驚嘆させました。今ではソニーグループは世界の各国に及び、全体の会社数は600社をこえ、総売上げ3兆6000億円、従業員は10万人に及んでいます。

こうしたソニーの巨大な成長もそもそもが盛田さんと井深さんとの出会いに始まります。ソニーの社内報ファミリー（5月号）の中で、「すばらしい出会いに恵まれて」と題して盛田さんは、「人生の中で一番恵まれたと思うのは井深さんと出会



☆会場で盛田会長に祝意

ったことです。」と述懐し、「お互いが自己主張することなく、井深さんの夢にかけることができたのは、井深さんの人柄によるもの」と井深名誉会長を讃えれば、井深さんの方は、「私はソニーがしなくてはならないことをあれこれいうだけでしたが、盛田さんはそれを見事にやり遂げて引張りあげてくれました」と盛田さんを讃える。やはりソニーの歴史は、井深さんと盛田さんの図抜けた先見の明は元より、お2人の類まれなる友情と関わり合いの深さを抜きにしては語れないようです。

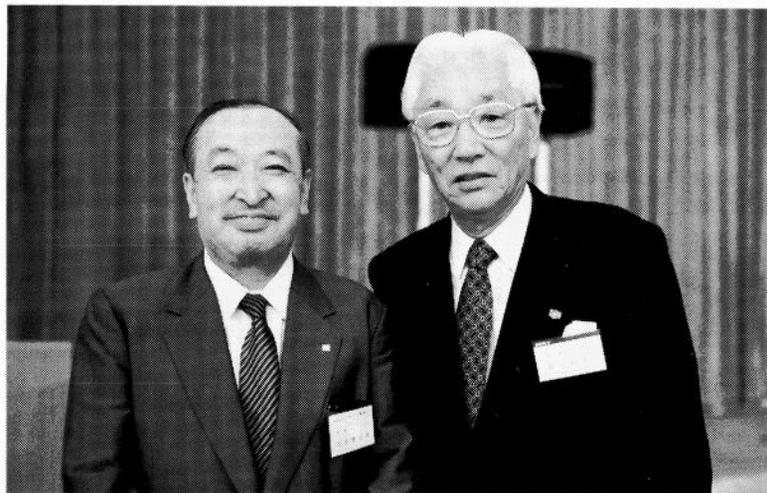
盛田さん、おめでとうございます。

盛田さん、おめでとう
御座います



イワタボルト USA が
HR. 3000に対応
検査・試験機器の
設置を整備

A 2 LA へ認定申請



新高輪ホテルの祝賀会
場にて

〈シグマ〉 No.57でお伝えしたように、米国では公法101-592「ファスナー品質法」H.R. 3000の制定により、径5ミリ以上又は1/4インチ以上の、規格又は仕様でグレード識別マークの表示を義務づけられているファスナーはすべて公認の検査機関による検査と承認を受けなければならないことになりましたが、これに対してIWATA BOLT USAでは着々対応策を進めてきました。今度の法律では、ファスナーのメーカー又は出荷業者は、外部の専門検査機関に検査を委託するか独自の検査体制をとる必要がありますが、イワタボルト USA は後者の方式をとることになりました。そのためには政府公認の機関に申請して設備

や能力などの面で、実際にその能力があるかどうか、運営する上で適格かどうか審査をうけなければなりません。

そこで、イワタボルト USA では、このための試験・検査機器を整備拡充すると共に、これらの機器による試験・検査を実施しそのデータを蓄積した上で、認可機関の A2LA に認定申請をしました。何れ近々、認可が降りるものと思われませんが、そうすると、納入ファスナーの検査もスピードアップされるわけで、OEM その他のお客様へは御迷惑をかけないですむと思われま

す。A2LA に認定申請した試験・検査機器類は次の通りです。

ボルト試験機 (Bolt Tester)

ボルト、スクリュー及びナットの保証荷重と引張り強さを試験する

最大能力：60,000Lbs. (266,893N/27,215Kgf)

最大ファスナー寸法：グレード 8、3/4-16(M18)

最大長さ：5/8"~12" (16mm~300mm)

全寸法測定ゲージ (Dimension-all Gage)

0.250" (0.6mm) ~2,000" (50.0mm) の頭部高さとし長さ、頭部径、二面巾、その他の外径と内径を測定する

X-120調整トライロールおねじ測定ゲージ(X-120 Adjustable Tri-roll external thread measuring gage)

ピッチ円直径、円すいと V ピッチ円径及びめねじ内径を測定する

外径：M2~M24 (M8以上：並目と細目)

BI-ポイントめねじ測定ゲージ (BI-Point internal thread measuring gage)

ピッチ円径を測定する

谷径：M5~M24 (M8以上：並目と細目)

硬さ試験機 (Hardness tester)

このロックウエル硬さ試験機は各種の金属と合金の硬度を測定できる

十字穴検査機 (Recess-checker)

万能ねじ穴検査装置で、フィリップス十字穴 No.1~No.4を検査 (H型)

よろめき測定装置 (Wobble gage)

よろめき誤差測定装置は、機械やタツピンねじ、木ねじの頭部に設けた十字穴のドライバーとの嵌合性を確かめる装置で、ねじ穴形状の何処が嵌合に影響するかを指示する

フィリップス十字穴：No.1~No.4 (H型)

ねじり強さ試験装置 (Torsional Strength Screw Testing Fixture)

トルクレンチを使用しねじり強さ試験、打込みトルク、脆性破壊のテストを行う

スクリュー寸法：M3~M6

スクリュー種類：A型、B型、AB型及びスレッドローリング型

投影検査機 (Profile projector)

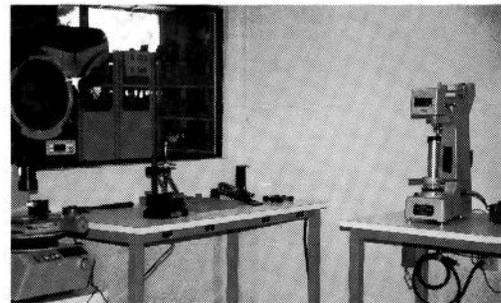
あらゆるファスナーの外観とねじ山の角度を測定

スクリーンの大きさ：12インチ

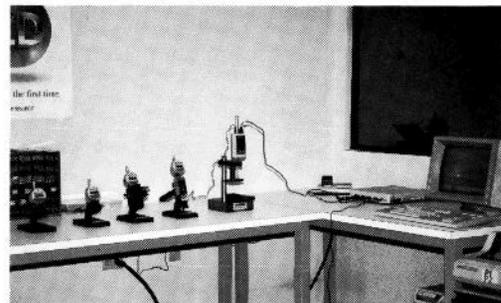
測定範囲：0~1" (0~25mm)



☆試験・検査室



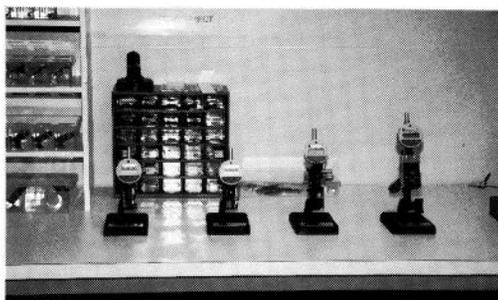
☆投影機・トルク試験機・十字穴検査機・よろめきゲージ
・ロックウエル硬さ試験機



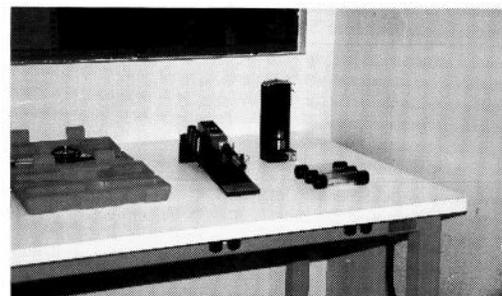
☆おねじ・めねじの測定ゲージとコンピュータ



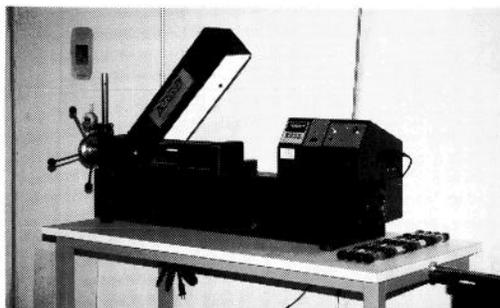
☆規格と技術関係資料



☆トライロールおねじゲージとバイポイントめねじゲージ



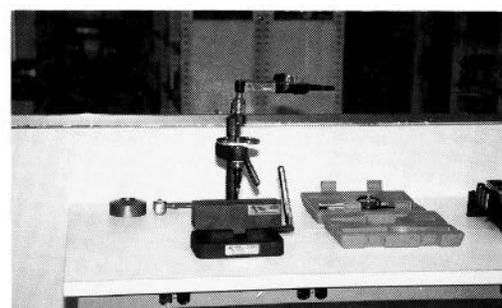
☆十字穴検査機、よろめきゲージ、プラグゲージ



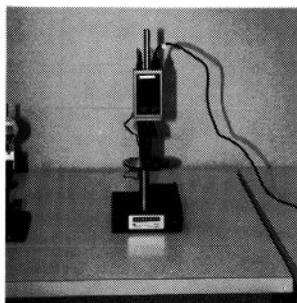
☆ボルト試験機



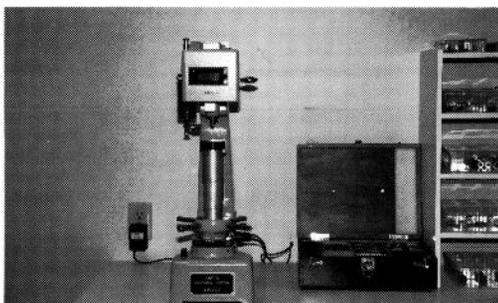
☆プラグゲージとマスターリングゲージ



☆タツビねじ性能試験機とトルク試験機



☆直径測定ゲージ



☆ロックウェル硬さ試験機



☆投影機



☆ソニー・エレクトロニクス (M) 工場

ソニーがマレーシアに先端的 2 工場 SEM と SMM の竣工記念式典

マレーシア経済の自立と発展に寄与
近々100%現地設計の製品も

☆ソニー・メカトロニック・プロダクツ (M) 工場



☆壇上に居並ぶ(左から) SEM 古賀社長、ソニー本社大曾根専務、福田日本大使、ソニー本社大賀社長、マレーシア国マハテール首相、ペナン州知事、ソニー本社鹿井副社長、ペナン州高官、SMM 齊郷社長

ソニーはかねてマレーシアのプライ自由貿易地帯に、最先端全自動のソニー・エレクトロニクス (M) (SEM) とソニー・メカトロニクス・プロダクツ (M) (SMM) の 2 工場を設立、稼働中でしたが、操業も軌道に乗りましたので、7月21日午前10時より、SEM 工場にて記念式典が行われました。

式典には、マレーシア国マハテール・モハメッド首相、ペナン州コー・クン知事始め各関係官庁長官、マレーシア駐在福田日本大使、ソニー側から本社の大賀社長、鹿井副社長、大曾根専務始め関係者が出席されました。式典は、SEM 古賀社長による開会の御挨拶に始まりましたが、この中で古賀社長は、ソニーが1984年に東洋オーディオを設立してマレーシアへの投資に着手して以来今日までの発展にふれ、今日ではアセアンとニックス地域に



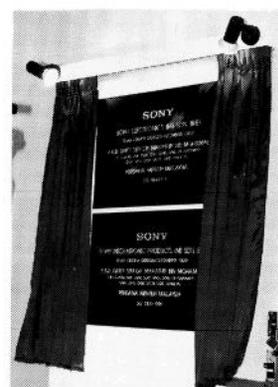
☆古賀 SEM 社長が開会と歓迎の辞



☆ソニー大賀社長がマレーシア政府の協力を感謝



☆マハテール首相がソニーの貢献を讃える



☆工場竣工記念の銘板も真新しく

おけるソニーの総出荷の47%がマレーシア産でしめられると指摘、またCDプレーヤーとHi-FiステレオなどではSEMがソニーの中で最大規模をしめるだけでなく、何れ100%マレーシア設計のソニー製品が世界市場に大きく翔く日の近いことを強調し感銘を与えました。

つぎにソニー本社の大賀社長が御挨拶に立ち、SEMとSMMの開設に当たり、マハテール・マレーシア国首相、ペナン州コ・クーン知事に深甚なる感謝の意を表すると共に、「ソニーのマレーシアにおける存在が単に投資の増加に止まらず、新しい雇用の創出、技術的ノウハウの移転、関連企業の誕生と開発を促がすことを期待したい」と述べられ、「2020年迄に高度に発展した国家に到達したいというマレーシア国の願望と期待にいささかなりとも貢献したい」と述べられました。

これに対してマハテール首相は、まず、マレー

シアが世界のソニー事業でも最大規模のSEMと、ソニーにとって初めての海外事業たるSMMの主役を演ずることになり喜ばしい、と歓迎の意を表すると共に、日本の企業がマレーシアでの研究開発にもっと力をいれ地元企業の育成に力を注ぐよう期待したいと述べ、その点今後のソニーに協力を要望。とくにオーディオ産業の成長がマレーシア経済の発展や雇用の創出に大きな影響を与えることを強調しました。

更にマハテール首相の手で両工場の記念銘板の除幕の後マハテール首相、大賀社長によるテープカットが終って、まず、SEM工場を見学、つづいて記念植樹の後隣接するSMM工場で見学と進み、一切の行事を終ってレセプション。2時近く、マハテール首相始めペナン知事他来賓が退場されて式典は滞りなく終了しました。

第2部として夜は、エクアトリアル・ホテルで



☆テープカットする大賀社長とマハテール首相

盛大な晩餐会が催されました。ペナン港に近く高台にそびえる豪華なホテルの大宴会場。20時過ぎ、ソニーを代表して大賀社長が歓迎の言葉を述べられたのに対し、ペナン州クーン知事が来賓を代表して挨拶されたのにつづいて宴会が開催されました。宴の間にマレーシア随一の女流人気歌手の歌など興の盛り上る中を南国の夜は更けて、華やかにも盛大な宴となり22時過ぎ幕を閉じました。



☆SEM工場前で記念の植樹、SEM古賀社長がカバーをはずす



☆ソニー大賀社長と鹿井副社長の御案内でマハテール首相がSEM工場見学



☆工場見学される（左から）マハテール首相と大賀社長、鹿井副社長、SMM齊郷社長

〔会社概要〕

〈Sony Electronics (M) Sdn.Bhd.〉

創 立 1987年1月15日
 操 業 1988年4月11日
 資本金(払込み) 30,000,000M\$ (リンギット)
 株 主 Sony Corp. (76.7%)
 Sony International (S) Pte Ltd. (2
 3.3%)
 社 長 古賀弘之
 従 業 員 約4,800名
 敷 地 約101,000平方米
 建 坪 約54,500平方米
 製 品 CDプレイヤー、ラジオカセットレ
 コーダー、ハイファイステレオ装置
 並部品
 向 先 米国35%、欧州30%、他35%

〈Sony Mechatronic Products (M) Sdn.Bhd.〉

設 立 1989年6月17日
 操 業 1990年4月9日
 資本金(払込み) 20,000,000M\$ (リンギット)
 株 主 Sony Corp. (100%)
 社 長 齊郷 隆
 従 業 員 約1,600名
 敷 地 約70,000平方米
 建 坪 約14,500平方米
 製 品 3.5" フロッピーディスク・ドライブ
 (FDD)
 向 先 全世界コンピューターメーカー



☆式典を終り退場するマハテール首相を見送る大賀社長



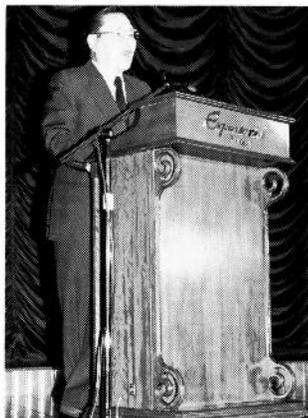
☆ソニー本社大賀社長と

〔御挨拶〕（要旨）

〈ソニー本社大賀社長〉

ここで、マハテル・モハメッド閣下始め、マレーシア政府諸官庁、州政府及びマレーシア国民に対し、全ソニー社を代表して心から感謝の意を表したいと存じます。皆様の御協力と御激励によって、プライ自由貿易地帯に相接する2つの製造工場を発足させることが出来ました。

ソニーがマレーシア並に近隣諸国の市場の拡大と多様化に対応して現地に製造の拠点を設けるべく、ペナンにソニー東洋オーディオを設立して事業に入ったのは1984年のことです。以来、バンギにソニーTV インダストリーズとソニー・ビデオの2工場を設立しましたが、その何れもが、マレーシアがこの地域におけるハイテク製造基地として抜群であること、この地域が補給管理上きわめ



☆夜はペナン空港近くの豪華なホテルで晩餐会、大賀社長が御挨拶

て有利であることを実証しました。

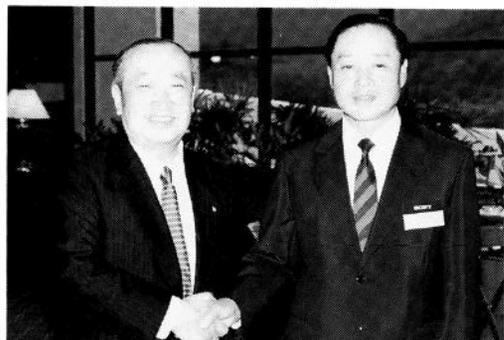
更に重要なことは、マレーシア政府と国民各位の協力によって、ソニーがこの国の経済・技術・産業各分野の成長と発展に積極的に寄与できる環境が作りあげられたことです。

ソニー・エレクトロニクス(M)は、熟練度の高い従業員とコンピュータ化した組立ラインとの結合で、CDプレーヤー、Hi-Fi コンポネント装置、ラジオ・オーディオカセット・プレーヤーなど、ソニーの主力オーディオ製品の生産を向上させます。これら信頼性ある高品質の製品は輸出を通じて世界に向けられますが、これらはソニーの品質保証のラベルを貼られる前に、一つ一つ厳しい品質検査をうけます。

ソニー・メカトロニック・プロダクツ(M)は、日本以外に作られた初めてのマイクロ・フロッピー・デスク・ドライブ製造工場であり、今では同様



☆ソニー本社鹿井副社長と



☆ソニー本社大曾根専務と



☆SEM 古賀社長と



☆SMM 斉郷社長と

に最大規模の工場になりつつあります。ソニー・メカトロニック・プロダクツ(M)の、生産性の高い充足感の溢れた作業態度は、ソニーそれ自体の生産と人的資源に対する取組みを反映しております。

私たちは、私たちのマレーシアでの存在が単に投資の強化をもたらしただけでなく、新しい雇用の創出、技術的ノウハウの移転、関連産業の開拓を促かすものと確信しております。その意味でソニーはマレーシア政府の「2020年迄に高度に発展した国に到達する」という目標達成にいささかなりと貢献できるものと期待しています。

ソニーは、献身と協力によってこそ、マレーシアに挑戦的で実り多い未来を創出していきたいと思います。

〈SONY エレクトロニクス (M) 古賀社長御挨拶〉

ソニーは1984年、東洋オーディオ (M) の開設を

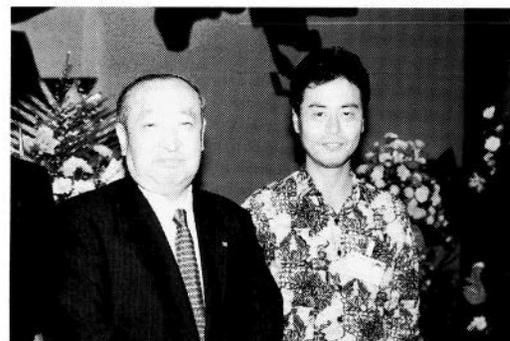


☆(左から) ソニービデオ上野社長、ソニー TV 志賀社長と

もってマレーシアへの投資に着手しました。以来、バンギにソニーTV インタストリーズ (M) とソニー・ビデオ (M) が設立され、今日ここに更に、ソニー・エレクトロニクス (M) とソニー・メカトロニック・プロダクツ (M) の2工場の開設を迎えるに至りました。政治と経済の安定に加えてマレーシア政府の変わらぬ御支援、国民の熟練し訓練の行きとどいた勤務態度、こうした諸々の要因こそがマレーシアがソニーにとって先端的な生産基地になっている所以のものがあります。

マレーシアはソニーにとってアジアで最有力の投資国で、1990年の総生産は約20億M\$ (リングギット) に達します。これはマレーシア、タイ、シンガポール、台湾、韓国におけるソニー工場総生産の47%に当たりますが、マレーシアへの投資だけで4億5,600万M\$、つまりソニーのアジア地域総投資額の47.7%をしめます。

マレーシアには5製造工場、1販売会社、1補



☆SEM 森マネージャーと



☆(左より) 志賀社長、東洋オーディオ志垣社長と

給会社が存在します。本日御紹介するソニー・エレクトロニクス (M) は従業員は4,350名でトップをしめ、マレーシアのみならず全世界のソニー工場でも最大です。バンギ・セランゴールのソニーTV インダストリーズは1,358名、ソニー・メカトロニクスが1,290名、東洋オーディオが1,175名、ソニー・ビデオが343名となっています。



☆SPEC 関谷社長もシンガポールから

総生産額からみると、ソニー・エレクトロニクス (M) が 8 億 6,500 M \$ で、マレーシアの総出荷のはほぼ半ばをしめ、つづいてソニー TV インダストリーズが 5 億 3,200 万 M \$、東洋オーディオが 2 億 7,700 万 M \$、ソニー・メカトロニクス (M) が 1 億 7,200 万 M \$、ソニー・ビデオが 2,600 万 M \$ の順となっております。

これらを側面から支える 2 社のうちソニー (M) セールス&サービスが 2 億 200 万 M \$、ソニー・ロジステックス (M) が 1,000 万 M \$ となっています。

SEM が 1988 年に操業以来、多大の業績をあげている点を御指摘申し上げることは、ソニー・エレクトロニクス (M) の社長として、欣快にたえません。現在、従業員数は 4,800 名、僅か 3 ヶ月で 450 名の増加をみておりますが、1991 年度は総出荷 15 億 M \$ を目標にしております。

このような美事な業績は、最新のハイテク自動



☆宴会場にて

生産設備を物にした、SEM の有能にして献身的な従業員諸君の努力の然らしむる所です。

現在 SEM は、主として米国と欧州市場向けに CD プレイヤー、Hi-Fi ステレオ装置と部品、及びラジオカセットレコーダーを生産し、技術の向上と自動化を更に推し進めて生産性を向上させる努力をつづけております。これまで SEM での製品は、ソニー日本の設計を基にしておりましたが、今日では、これら日本の本部からのものに設計変更や改良を施す作業に着手しております。私たちは CAD の利用によって製品の品質改善に成果をあげております。何れ、わが社現地の技術陣が SEM & Malaysia の名を世界に広め、100% マレーシア設計のソニー製品を送り出す日も近いと思われれます。

SEM は世界のソニー事業でも最大規模であると自負しております。私たちの次なる目標は、ソニー・グループのモデル企業になることです。こ



☆社員コーラスで社歌を高らかに

の点今後とも、マレーシア政府の御協力に対して感謝申し上げます。

SEM とマレーシアにおけるソニーの事業全体に代り、これまで賜わった御支持と御鞭撻にに対し、各州政府、マレーシア連邦政府、並にマレーシア国民に心から御礼を申し上げたい。マレーシアとソニーは共に手を携えてこそ、お互いにとって実り豊かな未来を創造することができるのです。

<マレーシア国モハメッド・マハティール首相>

マレーシアの活気溢れる経済力は政治・経済の安定と相まって、又とない投資環境を形成しております。加えてもって国民の勤労意欲と誠実さがあります。この意味で今回マレーシアが、ソニーの新しい 2 つの事業、一つは世界のソニーでも最大の事業、今一つはマイクロ・プロッセイ・デスク製造ではソニーにとって初めての海外事業、こ



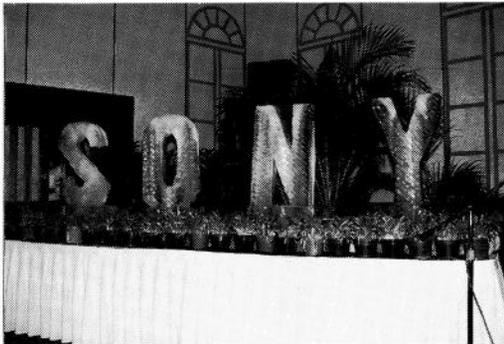
☆マレーシア随一の人気歌手の登場で会場は盛り上がる

の2つのホスト役を演ずることになり喜ばしく思います。政府はハイテク企業の創立を歓迎すると共に、2020年迄にマレーシアの工業国家達成を目指すという目標にそって産業施設と基盤の装備をつづける方針です。

日本の製造企業は政府の各種奨励策をもっと利用してマレーシアの研究開発を強化して頂きたい。現在マレーシアで行われている日本の事業は依然小規模です。又日本企業が地元のサプライヤーから部品を買入れるようになれば協力産業としての地盤が広がり、それだけこの分野のメーカーの力もつくわけです。

ソニーのマレーシアでの事業は積極的で、すでに部品の50%は地元調達で、研究開発も一部地元で実施されています。

オーディオ産業の雇用はすでに2万5,000名をこえてこの国最大の比重をしめ、輸出も大巾に増大しています。またオーディオ産業は、プラスチック



☆熱気を冷やすか、氷柱のソニー文字

一関出張所を今秋 新築移転

一関出張所を新築することになり、そのため
の地鎮祭が5月7日岩田社長ほか関係者列席し
て開かれました。東北自動車道一関インターに



成型、金属スタンピング、梱包、輸送など他分野の成長をもたらしています。1989年以来すでに61社の事業が認可をうけていますが、その大部分が輸出関連ですが、より高級品を検討して欲しいというのが私達の希望です。

程近い所で600坪の敷地に建坪150坪の倉庫、事務所が設けられる予定で、松田係長を責任者として、当面従業員10名を予定しています。発展する東北の物流の拠点として御期待下さい。

栃木分室を開設

お客様の要望もますます、きめ細かく多様になりつつありますが、これに対応するため、今度栃木分室を設け、7月1日(月)から営業を開始しております。どうぞ宜しく御利用の上、御引立下さいますよう、お願い申し上げます。

住 所 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56-2

ホンダ開発ビル4階403号室 〒581

電 話 0286 (77) 4721代表

FAX 0286 (77) 4719



☆環境破壊、地球温暖化などで関心も増大



☆質問も多様になり特殊化専門化してきた



☆パネル、写真などと共に製品も展示

ハイテク製品の表面処理 表面技術総合展 METEC'91

イワタボルトはサーマガード製品を展示
硫酸銅テストなどの実演も

ハイテク製品をいかに表面処理をうたう表面技術総合展 METEC'91は、1991年（平成3年）5月24日（金）から27日（月）まで4日間、東京晴見の東京流通センター（TRC）で開かれ、イワタボルトは昨年同様、サーマガード製品を展示しました。表面処理技術の重要イベントとして今年

で30回を迎える METEC も、地球の温暖化、大気汚染、各種の環境破壊の進む中でそのもつ意識や役割もますます重要になっておりますが、今年は例年より多い128社が展示、専門家や技術関係者などの見学も1万7,000名余りに及びました。

イワタボルトは、サーマガードについて、パネル、写真、図面などを添えて、タツピンねし、ボルト、ナット、その他部品などのサーマガード処理製品を展示し、硫酸銅テストや加熱炉処理などの実演を行いました。来場者の質問は、当然ながら防錆や耐電食性、耐候性などに注がれ、とくに従来の既存の方式とどこが違うかに関心があったようです。自動車関連では、軽量化（CAFE対策）の必要でアルミ材を使用する所から、電食にどう対応するかに強い関心を表すケースもありました。

自動車以外では、SUS材を使用しているのに錆の発生に困っていると、薬品の使用で錆の防

止に苦勞しているケースなどが注目されました。これらについては、その場で解決のメドのつきそうなものもありますが、技術スタッフを紹介するなり連絡させるなどの処理をしましたが、こうした展示会では不断われわれの接しないケースに遭遇することも少なくありません。

今度の展示では自動車関連で、耐熱性、耐電食性に関する質問が比較的多く、もっといろいろとデータを蓄積して対応する必要があるのではないかと思われ、また表面処理技術についても、もっと用途に基いた使用例やデータを集めることが大切なようです。今度の経験だけからしても、サーマガードの使用例がもっと増えるのではないかと思います。

（SOF1課 新妻）



☆コロンバスのシト・リバー沿い夜景

イワタボルト USA も出展

コロンバスのファスナーショー NIFSC

ファスナー品質法に話題と関心

第11回コロンバスショー (1991 National Industrial Fastener Show&Conference) は、1991年5月13日 (月) から15日 (水) までの3日間、米国のオハイオ州コロンバスのオハイオセンターで開かれ、イワタボルト USA も展示参加しました。米国進出以来、3回目の参加です。

今年のショーは例年とはやや異なった雰囲気の下で開かれましたが、その理由は何といても昨年11月16日、例のファスナー品質法 HR3000がブッシュ大統領の署名で正式に上院を通過したこと



☆ (左から) 代理店のグラント氏、マイク・ウィテントン (ゼネラルマネージャー)、鹿山マネージャー、山下副社長

です。初日13日は“Know the 90's” (90年代の叡智) をテーマにコンファランスだけで1日を終わりましたが、12件の演題中8件がファスナー品質法関連というすごさで、社員のマーク・ロッドマンが参加しましたが、中々の熱気だったようです。主な演題は次の通りです。

- ☆ファスナーの打込み方式と結結機能に対する効果
- ☆90年代の成長管理
- ☆ファスナー品質法の検査機認認可規則
- ☆HR3000の国内並に海外製品の責任賠償方式
- ☆現代経済の経営管理
- ☆ファスナーの品質認可
- ☆コンピュータによる規格と仕様の整合
- ☆HR3000の要件にどう対応するか

こんな風な内容の報告や話し合いが、限られた時間で次々に行われたわけです。

14日と15日の2日間は製品の展示。今年は全米のメーカーと商社約320社が展示しましたが、これ迄と同様、特定の商品に絞っているのが特徴です。イワタボルトは各種冷間塑性加工製品の展示でこれ迄通りメートルねじを強調し会場でも目立

ちました。見学者は2日間で2,800名程度、全米各地からメーカーや商社、OEMの代表が集まった感じですが、但しブースを訪れる人の話題の中心もファスナー品質法で、当社の対応のし方はどうかなどの質問が殆んど。また自動車其他日系企業の進出に伴い、JIS規格に対する質問などこれ迄とやや異なった関心も見られました。何れにせよ今後、ファスナー品質法が実際の営業面でどんな影響を及ぼすか、やはり備えあれば憂いなしの感でしてした。 (イワタボルト USA 山下)



☆ショー会場

イワタボルトはあなたの会社の ネジ・コンサルタントです

本社 〒141 東京都品川区西五反田 5-3-4
☎03(3493)0211(代表) FAX.03(3493)2096

五反田事業所 〒03(3493)0221(代表)
(ダイヤルイン)
☎03(3493)0252

本社資材課 ☎03(3493)0251

本社SOFI課 ☎03(3493)0254

埼玉工場 〒340 埼玉県八潮市木曾根 1139番地
☎0489(95)1331(代表) FAX.0489(95)1334

栃木工場 〒329-23 栃木県塩谷郡塩谷町大字田所字八汐1601-6
☎0287(45)1051(代表) FAX.0287(45)1053

川崎支社 〒210 神奈川県川崎市幸区南幸町2-72-1
☎044(522)4101(代表) FAX.044(522)4106

浜松営業所 〒430 静岡県浜松市御給町179-1
☎053(425)1118(代表) FAX.053(425)9448

多摩営業所 〒196 東京都昭島市郷地町2-38-3
☎0425(41)5534(代表) FAX.0425(41)6416

藤沢営業所 〒252 神奈川県藤沢市湘南台1-21-5
☎0466(44)1277(代表) FAX.0466(44)8816

草加営業所 〒340 埼玉県草加市花栗1-32-43
☎0489(42)1131(代表) FAX.0489(42)1133

埼玉営業所 〒364 埼玉県北本市中丸4-72番地
☎0485(91)2212(代表) FAX.0485(91)2261

富士営業所 〒419-12 静岡県富士市厚原367-7
☎0545(71)3588(代表) FAX.0545(71)2538

川越出張所 〒356 埼玉県川越市大字下赤坂619番地
☎0492(63)6800(代表) FAX.0492(63)6803

名古屋営業所 〒452 名古屋市西区野南町78番地
☎052(502)7761(代表) FAX.052(502)7763

横須賀出張所 〒237 神奈川県横須賀市長浦町1-2
☎0468(23)2724(代表) FAX.0468(23)1657

仙台営業所 〒981-12 宮城県名取市増田6-3-46
☎022(384)0265(代表) FAX.022(384)0694

大阪出張所 〒581 大阪府八尾市中田2丁目403-3
☎0729(23)7910(代表) FAX.0729(23)7911

厚木営業所 〒243 神奈川県厚木市下荻野518番地
☎0462(41)7021(代表) FAX.0462(41)7023

宇都宮営業所 〒320 栃木県宇都宮市野沢町字桜田372-13
☎0286(65)4661(代表) FAX.0286(65)4662

群馬営業所 〒370 群馬県高崎市巾尾町491番地
☎0273(62)1041(代表) FAX.0273(62)7631

福島出張所 〒963 福島県郡山市川向188
☎0249(45)9610(代表) FAX.0249(45)9605

太田出張所 〒373 群馬県太田市大字岩瀬川字荻根113-3
☎0276(46)1796(代表) FAX.0276(46)1764

福岡営業所 〒824 福岡県行橋市長木字帽子形372-1
☎09302(3)9444(代表) FAX.09302(3)9451

つくば出張所 〒305 茨城県つくば市並木3-16-1
☎0298(55)0764(代表) FAX.0298(55)0769

山形出張所 〒990 山形県山形市検町3-8-34
☎0236(81)1170(代表) FAX.0236(81)1171

千葉出張所 〒292 千葉県本更津市潮見6-10
☎0438(37)3094(代表) FAX.0438(37)3194

一関出張所 〒021 岩手県一関市山目字三反田165-1
☎0191(26)4611(代表) FAX.0191(26)4612

栃木分室 〒581 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56-2ホンダ開発ビル
☎0286(77)4721(代表) FAX.0286(77)4719

三重分室 〒510 三重県四日市市河原田町藤市921-3
☎0593(47)1941(代表) FAX.0593(47)1867

上田分室 〒386 長野県上田市常入1-5-5
☎0268(26)1295(代表) FAX.0268(26)1259

シンガポール工場

NO.10 BENOI CRESCENT
JURONG TOWN SINGAPORE 2262
☎266-3794 FAX.266-2115

クアラルンプール支店

P.O.BOX 94, SUITE 2402, 24TH FLOOR
UMBC MAIN BUILDING, JALAN SULTAN
SULAIMAN, 50000 KUALA LUMPUR,
MALAYSIA ☎03(238)1566 FAX.03(238)1739

IWATA BOLT USA INC.

20600 BELSHAW AVENUE CARSON,
CALIFORNIA, 90746. USA
☎213(537)7500 FAX.213(537)7504
TLX.691-410

IWATA BOLT USA INC. アトランタ支店

INTERNATIONAL COMMERCE PARK
3130 MARTIN STREET SUITE 100
EAST POINT, GEORGIA 30344
☎404(762)8404 FAX.404(669)9606

IWATA BOLT USA INC. オハイオ支店

7494 Webster Street Dayton, Ohio 45414
☎513(454)1231, (454)1277 FAX.513(454)1480
FAX.513(454)1480

18 岩田ボルト工業株式会社